

# 第一回大山街道ウォーク

平成27年10月21日（水）大山街道歩きがスタートする。出口が一番多いのではと思う永田町の待ち合わせ。五番出口が一番わかりやすいと十三名が集う。



赤坂交差点の近くに赤坂御門跡の石垣をバック



に記念写真を撮りウォークはスタートする。  
 弁慶橋を見て246号線沿いに歩き豊川稲荷東京別院をお参りする。

少し戻り本線から外れて牛鳴坂を歩く、急で滑りやす坂であったという。

本道に戻り、高橋是清翁記念公園に入る。

奥に高橋翁の銅像を見て、領主青山家12代の墓石がある梅窓院に入る。



都会の真ん中に竹藪で区切られた当院には煙草会社、岩谷松平の特大の墓石がある。

外苑前交差点に大道路の新しい道標を見る。さらに進むと長野善光寺の分身を祀った善光寺がある。

青山学院大学の前を過ぎ左折して六本木通りを渡って、金王八幡宮に入る。





ここは渋谷の発祥とされ、境内に渋谷城砦の石がある。本日はここで能舞台の前のベンチで昼食をとる。

青山通りに戻り、宮益坂を下り、御嶽神社を眺め、渋谷駅をいつの間



にか過ぎて、道玄坂の碑を見る。

上目黒大坂、上目黒氷川神社の大山街道標識を確認する。

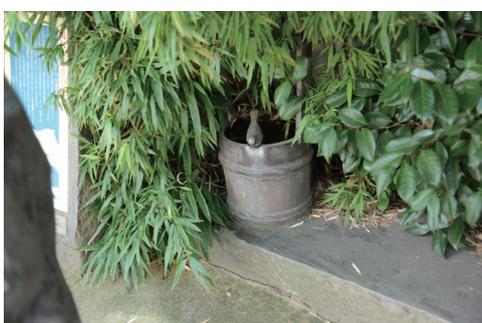
広い道路を渡り、エレベータに乗り、池尻ジャ



ンクシヨン上の目黒天空庭園を見学する。広い庭園を上まで登り、図書館前から街道へ戻る。

目黒川大橋を渡り、兩岸の桜に季節を思う。

池尻稲荷神社で酒れずの井戸跡を見て、三軒茶屋駅まで歩き、ここで解散する。



「19694歩」

## 第二回大山街道ウォーク

平成28年1月20日（水）先月延期した街道歩きのため三軒茶屋に集合する。登戸道と二子道の別れ道に大山道の道標が建っている。中島さんがそこに現れてから最後に山岸さんが到着してスタートする。

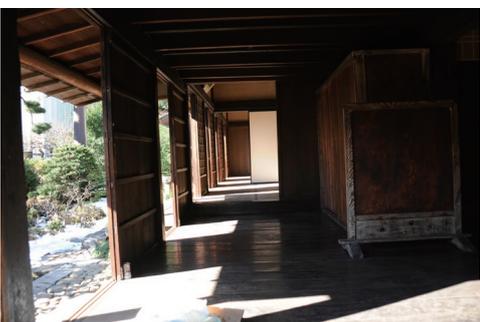
世田谷線三軒茶屋駅の構内を歩いて、青目不動尊の竹園山教学院最勝寺を訪ねる。



街道に戻り若林交差点から環七通り沿いの駒留八幡神社に入りお詣りする。

もう一つの見どころがあると常盤塚の碑を探し確認して街道に戻る。

次は世田谷代官屋敷へと歩を進める。世田谷領の代官を務めた大場家住宅で国の重要文化財に指定されている。敷地内に郷土資料館があり、ポロ市の歴史などが説明されている。





食をとる。浅見さんが暖かいカレーを注文する。



暫く街道を歩き、かつて蛇崩川がながれていたところの大山道児童遊園にある大山道旅人の像を見て、馬事公苑へと向かう。天気は良いが風が冷たい。広い公苑を売店事務所まで行き、ここで昼



他の人は持参した弁当をそれぞれ食べる。ここで記念写真を撮り、元の入口まで戻り公苑を出る。



街道に戻り、用賀追分を確認して、真福寺の境内に入り、延命地藏を見て、二四六号と環八の大きな瀬田交差点の横断歩道橋を渡る。



瀬田地区の行善寺を訪れる。境内からの眺望は良く、「行善寺八景」として版面に描かれている。



坂を下りて調布橋道標を見て、二子玉川駅を過ぎて、多摩川を望み、二子の渡し跡を見て、二子橋を渡る。

二子神社で岡本かの子文学碑を見て、岡本太郎の像に納得する。

光明寺を過ぎて、「大山街道」の発行元、大山街道ふるさと館に入り、暫し見学する。

本日最後の溝口神社をお詣りして、南武線、武蔵溝ノ口駅に到着する。次回の集合場所を確認して解散する。

### 第三回大山街道ウォーク

平成28年2月17日（水）溝の口駅集合、前回の集合場所を見失ったのか十時二十分になっても山岸さん、杉田さんの三人しか集まらず、中島さんに電話してやっと合流できる。

すでに皆さん集合していた。街道は246号線沿いではあるがほとんど246号線は歩かず、ほぼ横断するのみでした。また、かなりの起伏に住宅マンション、アパートが

建つ新興住宅街で旧街道の雰囲気はあまり感じられない。

庚申塔と大山道標をみて、ねもじり坂を歩くと下作延2丁目当たり、



笹の原子育て地蔵、梶ヶ谷の交差点の横断歩道を渡り、宮崎大塚に寄り、馬絹〇〇碑を見る。

庚申坂、八幡坂を上り、小台稻荷神社を過ぎて、宮前平駅でトイレ休憩する。





道標のある馬頭観音を見て、うとう坂を上り、大木が綺麗に剪定されている立場跡の皆川園を過ぎる。老馬鍛冶山不動堂に登り、急階段を下りて霊泉の滝を見る。



ガードを潜り、小台坂を上り、小台公園に入り昼食タイム、全員写真を撮り出発する。



民家にある中宿常夜灯をみて、立ち入り禁止の桂田城跡を眺めて、東名高速の下を潜り江田駅に到着する。次回はこの江田駅からのスタートになる。



「17590歩」

# 第四回大山街道ウォーク

平成28年3月16日(水)江田駅、十時三十分集合、十一人が集まる。

田園都市線のガードを潜り、線路と並行の道を暫く長津田方向に歩く、山間に作った新興住宅街は坂が多い。



市ヶ尾横穴古墳群に街道を外れて行く。一带は市ヶ尾遺跡公園となり保存されてはいるが標識が見難くなっている。



街道に戻る途中、市ヶ尾竹下地藏堂を見て、庚申塔、地藏尊を確認する。  
猿田坂を下り、旅籠綿屋があったという。川間人道橋を渡ると大難おなのつじの辻で道路が分かれる。





田中屋、一里榎を見て、細かいアップダウンを歩き、医薬神社に到着、お詣りして先に進む。

ヤマダ電機を左折して、246号線の高架橋を渡り坂を下りる。



嵐が丘公園で昼食をとる。記念写真を撮り、歩きを再開する。



大山街道の赤いシールを張ってあるお宅が散見する住宅街を歩く。元寿光院の墓地にあった宝篋印塔を見て、降りると、こどもの国へ行く道に当たる。この道を横断して、246号線の歩道を行き、恩田川を渡り、緑区に入る。

横浜線ガード下から長津田方向に歩を進める。三体の地藏さんが収められている片町地藏堂の道しるべ碑を確認する。

長津田宿常夜灯二基がまとめられて、長津田十景が紹介されている。

大林寺の晩鐘を見て、マンション横の小さなお七稲荷をお詣りして、大きな大林寺を眺めながら長津田駅に向かう。

「17590歩」



## 第五回大山街道ウォーク

平成28年4月20日（水）長津田駅、十時三十分集合、十分前に13人が集まる。

今は裏口となった長津田駅から歩き始め、街道筋から右に急坂を登り大石神社の境内に入る。

在原業平の化身を祀ったという。祭神の大石は見られないがお詣りして急階段を



下りて街道に戻り、大山街道の未舗装の旧道が残されている。

暫く歩き舗装道路に出ると八重桜が丁度満開になっている。

環境霊園、横浜みどりの里を過ぎて、246号線に合流して、フィールドアスレチック（つくしのコース）の遊具を所々に見ながら歩く。宇佐美スタンド側から246号線の向う側に街道

は続く、複雑に歩道橋を渡り、馬の背に出る。尾根伝いに街道が続き、見晴らしがよく、この日は見えなかった大山や町田市街の眺望が素晴らしい。

ここから降りるとすぐすぐかけ台駅に着く。本日はこの広場で昼食をとる。

東工大のすぐかけ台キャンパスの看板が道路越しに見える。





246号線沿いに歩きお馬の親子像をみて、横浜市緑区から町田市の境界線を越えて歩きを進める。  
大ヶ谷道祖神、圓成寺、五貫目道祖神、を見て歩くと町田街道、16号線を渡り、境川にさしかかる。

大山阿夫利神社御分霊社、新田義貞像と鎌倉街道の説明書前で時間取られて、次回の企画（鎌倉



街道歩き)をひっかける。  
大和下鶴間ふるさと館で小休止、写真撮影をして、急階段を上り、鶴林寺を見て回り、車が多い街道を歩き、鶴間駅で解散。

「15571歩」

## 第六回 大山街道ウォーク

平成28年5月18日（水）小田急線、鶴間駅に着く。午前十時三十分集合、山岸さんが最後に改札を出てくる。杉田さんは出席しなかったので総勢十二人で街道歩きが始まる。

艦載機のジェット音が耳をつん裂く、大和飛行場からの騒音らしい。こんな大きい音とは吃驚でした。



大山街道の碑が少しあるだけで街道雰囲気は伝わらない。街道は粗直線で連なっている。

246号線は横断歩道のあるところまで遠回りして渡る不便さも、歩き運動と納得する。相鉄線の踏切を越えて寺尾公園で昼食をとる。

中島さんが冷凍パイナップルを配る季節になった。昼食後のデザートは涼味満点で何時しか期待する。

暫く歩くと高台なのか正面に大山が目に入る。目九尻川を渡ると日本で最も古い運河と伝えられている史跡逆川碑に到着する。



史跡逆川の碑を囲んで記念写真を撮る。



国分宿を想い史跡相模国分寺跡の芝生の広さを体感して、もう少し詳しい説明がと資料館を見るが、リーダーが入っても資料はないと言う。海老名市郷土資料館の温故館の外観を眺めて、通り過ぎる。

大きなお寺国分寺の境内に入りお詣りする。

七重塔の三分の一復元模型を見て、様変わり著しい海老名駅で解散する。

「16545歩」



## 第七回大山街道ウォーク（途中中止）

平成28年6月15日（水） 小雨の中、八王子発の相模線に乗る。「海老名駅」に9時15分、既に中島さんは来ていた。野田さんと宇山さんは欠席と。本日は伊勢原までと歩き始める。  
相模線の踏切を渡るこの辺りから雨脚が早くなる。この先雨がひどくなるので中止とリーダーの判断、厚木に向かい来月に順延と成る。

「6404歩」



## 第七回大山街道ウォーク

平成28年7月20日（金）、相模線で海老名駅に降りて小田急側に廻る。中島さんが今日まで外に出ず寝ていたのので、初めて歩くと不安そうに現れる。本日は中田さんを最後に迎えて、10名が定刻に歩き始める。すぐ、江戸花巡りで一緒にいる佐賀清子さんと鉢合わせ、珍しいこともあるものです。



相模線の線路を渡り、総持院の蓮の花を見る。  
有鹿神社で境内を散策見学してお参りする。



平安時代から室町時代に活躍し、地名にも関係がある海老名氏霊堂を見る。厚木の渡船場を見に七曲から向かうが工事中でこちら側からの渡船場跡は見られなかった。  
 海老名市歴史資料収蔵館横で小休止して、三眼六足稲荷大権現に寄るも三眼六足の意味がわからなかった。



あゆみはしを渡り相模川を越える。



そして、厚木村渡船場跡、渡辺華山来遊記念碑の前で記念写真を撮り、厚木神社に入る。



そこで神社の人から大和に近いのに厚木飛行場という理由を聞かされる。



最勝寺を見て、熊野神社の境内で昼食をする。  
岡田一本杉というバス停を過ぎる周りにソニーの工場が見受けられる。



矢倉沢往還の標識を見る。長徳寺を見て、法徳寺の境内に入り、たまがわの新宿橋を渡り、円光寺の愛甲三郎の墓を見て、愛甲石田駅に向かう。



「2118歩」

## 第八回大山街道ウォーク

平成28年9月21日（水）愛甲石田駅南口を出発。線路に沿って進み、約100mで踏切を渡り国道246号線に出て右側に渡り左折する。300m程先の道了尊入口信号の先右側に浄心寺がある。

古墳の西側の裾を北に行くと崖に出、階段を降り、線路沿いに行き、小田急線の



ガードをくぐる。くぐって道を渡った交差点の角に道標を兼ねた道祖神らしき石柱がある。

街道はガードから左の道で緩やかに右カーブする。ガードから400m程で左に成瀬小学校の東角の「字路」に着く。「字路」の手前右に道祖神らしき石造物がある。

街道は小学校に沿って左にカーブし、歌川橋で歌川を渡り、県道22号線（成瀬小学校入口交

差点）を右側の歩道橋で渡り直進する。交差点から上りとなり70m程の角に道祖神があるはずが、工事中で傍に並べられていた。坂を上ると「字路」となり、下粕屋の表示があり、ここから糟屋宿となる。街道はここを右折する。

大慈寺を出て、案内板に従って渋田川を遡る



と左手に道灌の墓がある。

丸山城は、平安時代末期から鎌倉時代にかけてこの辺りを支配していた糟屋藤太有季の館跡といわれていた。室町時代後期には、太田道灌が活躍し、道灌の主君の扇谷上杉定正に関連する城（館）の可能性が出てきた。



丸山城址公園を出てR246の下糟屋交差点を右折。60m程先の「」字路は左折する。東海大病院を右に見て進んで行くと渋田川に着く。川の手前を右（上流）に入ったところに咳止（せきどめ）地蔵尊が祀られている。

上粕屋神社鳥居の先の道の斜め右前の道を進み、次の道を右折。80m程で用水がある十字

路に出、左角に「台の道標」があり、ここを右折し用水沿いに進む。用水に沿って100m程進んだ十字路の左角に「庚申塔（道標）」がある。

この庚申塔は、伊勢原市三ノ宮竹ノ内591番地の田中家の敷地にありましたが、道路造成用地となったため、田中家所有のこの土地に移



設されたものです。

用水に沿って進み、突き当りを左折すると県道116号線に出る。右折すると石倉橋バス停があります。

「文・写真 中島征雄」（このコース前北は欠席）



# 第九回大山街道ウォーク

平成28年10月19日（水）前回欠席しているの  
で待ち合わせ場所、時間が古い案内で不安でし  
たが早めに着いて伊勢原駅のドトールで待つ。  
四番バス停から12名が産業能率大学行きに乗  
り石倉橋で降りて歩き始める。車の通りは多く  
歩道はない一列に車道横を歩く。



上粕屋比々多神社に寄る。  
拜殿にある板絵著色歌川國経筆美人絵馬をみ  
て、旧道這子坂を登る。暫く登ると諏訪神社に  
到着する。ここで我々は小休止する。



また長い坂を登り、大鳥居を潜る。  
暫く登るが街道を外れて姉妹都市茅野市から





提供された御柱を見る。  
しになっていた。  
十月桜が満開でした。  
そのうち一本は横倒

大山郵便局を過ぎてまた坂を登る。新玉橋を  
渡り、さらに加寿美橋を過ぎて、愛宕滝と東屋  
で昼食になる。



ここで記念写真を撮り、愛宕橋を渡りたらだ  
ら坂を登る。開山堂の後に良弁滝を見る。豆腐  
坂を登り、茶湯寺の釈迦涅槃像を本殿奥に確認  
してお参りする。



アサギマダラが群がるのをみて街道に戻る。  
 コマ参道の階段を上り、途中、今回の懇親会  
 会場を横目で見て、大山ケーブル駅を目指す。  
 ケーブルに乗る前に八意思兼神社の階段を  
 登る。男坂と女坂の分岐点で追分社とも呼ばれ  
 る神社にお参りする。ここから大山神社までの  
 道はあるが、ケーブル駅に戻る。



多少の待合時間で、小休止。ケーブルに乗り、  
 大山寺駅で途中下車する。



関東三大不動の一つ「大山寺」に向かう。  
 大山不動さんと呼ばれた大山寺は山号を  
 雨降山あぶりさんという。本尊の不動明王、矜迦羅童子、  
 制呬迦童子せいたかは珍しい鉄像で鎌倉時代の作と言わ  
 れている。



大山寺をお参りして再びケーブル大山寺駅に戻ると今度の登りケーブルは反対側のホームになり、大きくオーバブリッジを渡る。



ケーブルの阿夫利神社駅を降りて、街道歩き最後の階段を登り阿夫利神社下社の本殿にお詣りする。





お参りと最終歩きを噛みしめての休憩後、階段を降りて、懇親会会場に入る。  
三浦繁雄さんが所要により、ここでお帰りになる。

九回に分けての大山街道歩きが完了した。

豆腐料理で懇親会、企画責任の竹島さんも参加されて無事お開き、中島さん有難うございます。

「14993歩」



最終回（第九回）石倉橋バス停〜大山阿夫

利神社下社（途中ケーブル利用）

第九回参加者

折本文夫、杉田勝行、宇山治男、中田信義、  
古家 計、野田 宏、八木閱三、相原教男、  
三浦繁雄、伊藤泰弘、前北勝司、中島征雄  
合計 12名

平成27年10月21日（水）に赤坂御門から出発して9回に分けて歩き、平成28年10月19日（水）、大山阿夫利神社下社に無事到着しました。

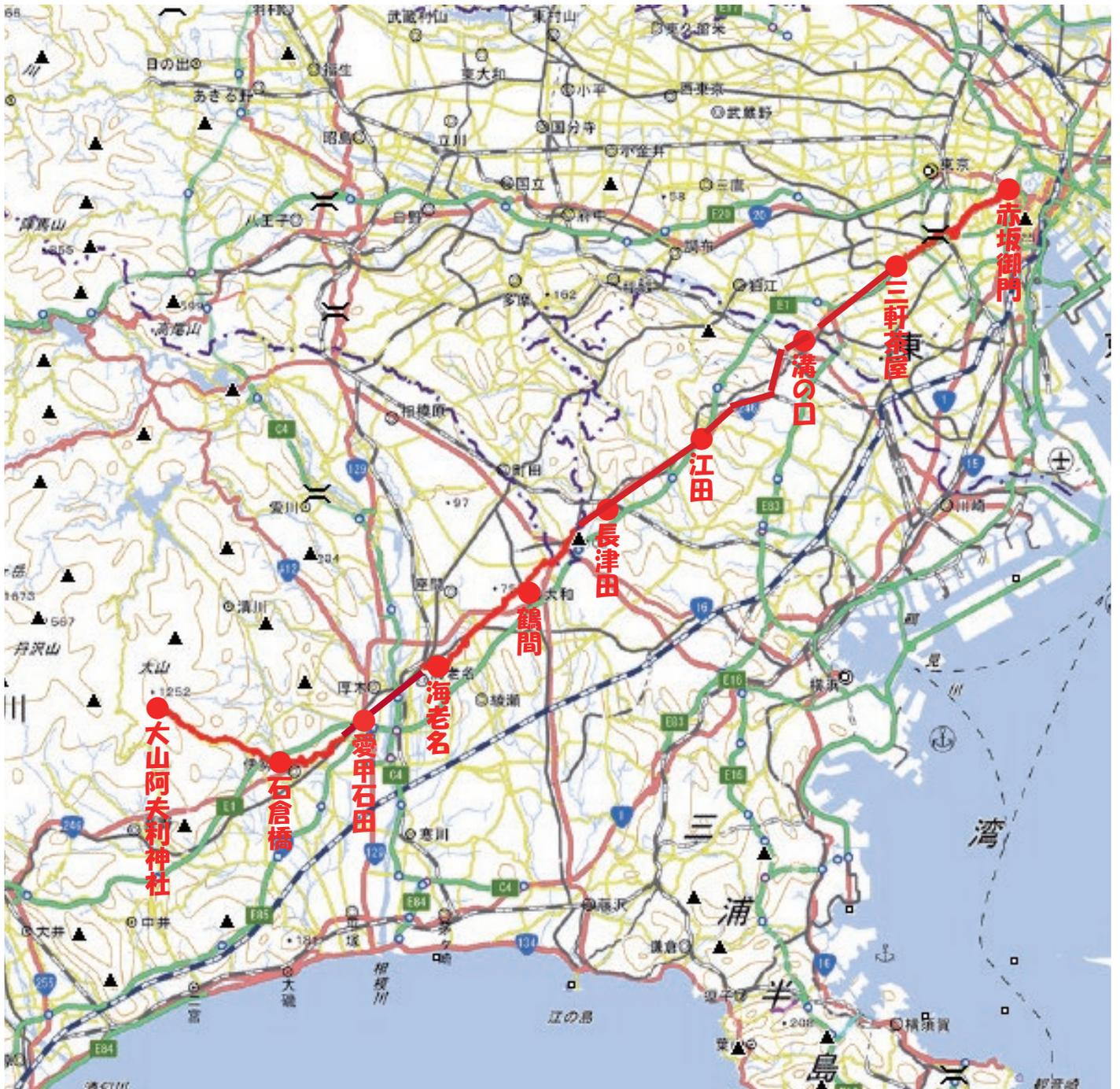


大山街道ウォークの  
総距離は、九十五・一籽です。

- 第一回 平成27年10月21日(水) 十三・九籽(十三名) 永田町駅〜三軒茶屋駅
- 第二回 平成28年1月20日(水) 十四・一籽(十二名) 三軒茶屋駅〜溝の口駅
- 第三回 平成28年2月17日(水) 八・九籽(十三名) 溝の口駅〜江田駅
- 第四回 平成28年3月16日(水) 九・六籽(十一名) 江田駅〜長津田駅
- 第五回 平成28年4月20日(水) 八・八籽(十三名) 長津田駅〜鶴間駅
- 第六回 平成28年5月18日(水) 九・八籽(十二名) 鶴間駅〜海老名駅
- 第七回 平成28年7月20日(金) 十一・四籽(十名) 海老名駅〜石倉橋バス停
- 第八回 平成28年9月21日(水) 九・六籽(十名) 愛甲石田駅〜石倉橋バス停
- 第九回 平成28年10月19日(水) 八・〇籽(十二名) 石倉橋バス停〜阿夫利神社下

旅人(十五名、五十音順)

- 相原教男
- 浅見憲一
- 伊藤泰弘
- 宇山治男
- 折本文夫
- 杉田勝行
- 竹島久雄
- 中島征雄
- 中田信義
- 野田 宏
- 古家 計
- 前北勝司
- 三浦繁雄
- 八木閱三
- 山岸雅明



参考文献

川崎国道事務所HP 大山街道見どころマップ  
 大山街道ウォーク(1)～(9) 中島征雄

編集後記

甲州街道、東海道と続く第三弾目ですが歳と共に根気が無くなり、編集意欲の欠如です。

取り敢えず、歩いた記念になればと毎月の備忘録から抜粋して写真主体に纏めました。写真もデジタルになって乱撮りが多く、撮影枚数は三三三枚程になっています。写真は寿会ホームページ (<http://ivokoto.news-site.net/>) にスライドで掲載しています。

詳細は中島さんが執筆して、竹島さんが校正して皆さんに配布された大山街道ウォーク(A4判、50頁程)を参考にしてください。

前北勝司

寿会多摩支部ハイキングサークル

企画、資料校正 竹島久雄  
 調査、案内、資料作成 中島征雄  
 写真、編集 前北勝司

平成三十年(2018)八月十六日発行